

緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

2023

vol.

36

 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行ないます。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。



CONTENTS

● Message 「病棟長の抱負」	1
● 「緩和ケア病棟に赴任して」・遺族会	2
● ハロウィン特集	3・4
● 季節の行事	5・6
● 徒然日記	7





緩和ケア・ペインクリニック科
医師

中右 礼子

自然に親しむ

立冬が過ぎ、急に冷え込み始めた今日この頃です。今年はコロナが一段落したかと思えばインフルエンザの流行があり、気の置けない毎日が続いています。松江市立病院に勤務し始めてから7年が経ち、いろいろな出来事を振り返りながら、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、緩和ケア外来がそれぞれの役割を果たしているかと、反省しながら毎日過ごしております。

とくにこの一年は、ずっと背中を追いかけてきた岩下先生とのお別れがあり、個人としてまた科として、乗り越えなければならない壁を感じつつ勤務にあたりました。不安を和らげることで、大切にしたい事が一人一人違っていても、共通の故郷のような、心の拠り所があって、悲しみをわかり合えるのではないかと思います。岩下先生のお母様が先生の幼少時代、山形で過ごされた思い出を話して下さった時、ふとした時に自分が戻れる場所があることの大切さを実感しました。今の自分と過去、未来を思う時に、誰かと心がふれあう瞬間があると思います。そういう微妙なふれあいを感じることができる場としての、緩和ケア病棟であったらいいなと思います。

「自然に親しむ」ことと「人生の瞬間を考える」ことは同じように思えます。自然はなぜこんなにうまくできているのか、人生で出会いたいものに出会えるのはなぜか、その答えを探すことは自分自身を理解する道でもあると思います。大きな

壁があるとき、今までの自分を作ってくれた原風景を思い返しなが、乗り越えられるような気持ちになる事、そのような瞬間を求めつつ、皆様と関わっていきたいと思います。

枕草子にもあるように、春はあけぼの、夏は夜、秋は夕暮、冬はつとめて…と、日々新たな発見を積み重ねながら、心地よさを追求しつつ、これからもスタッフ一丸となって、皆様のお手伝いができますよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。





緩和ケア・ペインクリニック科
医師

小糠 あや

緩和ケア病棟に赴任して

初めまして、今年6月に緩和ケア・ペインクリニック科に配属された小糠あやと申します。今までの仕事は主に手術室での麻酔管理でした。

緩和ケア病棟では初めての経験だらけなので慣れない緩和ケア病棟の日々に戸惑ったり悩むことが多々あります。そんなときに助けてくれるのは諸先輩方です。もちろん安部先生、中右先生にはいつも助けていただいています。緩和ケア病棟には看護師さん、看護助手さん、作業療法士さん、薬剤師さん、栄養管理士さん、医療相談員さん、音楽療法士さん、ボランティアさん、医療事務さんなど多くの専門スタッフがいて、そのスタッフすべてが経験豊かで頼りがいのある先輩です。皆が各々にプライドをもち、果たすべき役割を果たし、目指す目標は常に患者さんやご家族の思いに添い、そしていつも真剣です。毎日カンファレンスを重ね

共有し、緩和ケア病棟で過ごされる日々がより良いものになる努力を続けています。私も早くこのスタッフの一員として役割を果たすことができるように精進したいと思います。

そしてまた、患者さんは人生の先輩として色々なことを教えてください。穏やかに病気を受け入れて療養されている方、ご自身の病気について理解し病気と向き合おうとされている方、私の想像を遥かに超えるような目標を達成される方など…。様々な方に出会い、毎日色々な思いに触れます。お話をさせていただく中で、私自身が泣いたり笑ったり、心揺さぶられる経験をたくさんします。この貴重な経験を大切に丁寧に繋いで行くことが今の私にできることだと思っています。まだまだ頼りない存在ではありますが、今後ともよろしく願いいたします。

遺族会

令和5年10月14日

コロナ禍で中止した年もありましたが、今年で8回目となった遺族会。今年は昨年よりもお越しいただけたご家族の方が多かったように感じました。

早く以前のようにお茶を飲みながら懐かしいお話ができるようになりたいものです。



今回の
ミドコロ

ハロウィン



令和5年10月19日

★ ハロウィンの発祥はヨーロッパですが、ここ数年日本にもコスプレパーティのような感じで根付きましたね。仮装するのは、収穫祭に合わせておかしな亡霊や幽霊たちを追い払うためだそうです。「仮装をすることで邪気が払われるそうなので、今日この場はとても清浄な空気が流れているという事です」と、『変なおじさん』のコスプレをした和田師長が挨拶しましたが、説得力があるような、無いような…。

トリックオアトリート！ビンゴゲームも盛り上がり、景品の違いはあれど、みなさん楽しんでくださった様です！

そしてボランティアの皆さん、今回もありがとうございました。



準備も大変



小糠先生と研修医♪



壁の装飾もハロウィンです



安部先生とためき？！



ぶりぶりモンスター♪



かわいい
モンスターですね～



出ました！



「変なおじさん」と(笑)



主役を完全に
食ってしまっ
ています



本日の主役たち



ビンゴの景品



みんな早く当たるといいね~



みんなビンゴに真剣です



中々空かない穴...



安部先生 まだビンゴになりませんか



俺も当たらない...



まだビンゴの人数いない?



だれかビンゴいませんか~?



景品につられて参加したのに 残念だったわ~

はずれなのか あたりなのか!



中右先生 渾身の魔女ヨスブレ



小糠先生 かわいい魔女ですわね



プログラムを見る 患者さん



お部屋にもお邪魔しました



ハリーポッターを 演奏中の自称魔女





花

令和5年3月

見

何回かに分けて、みなでお花見に行きました。日陰になっているところの木にはあまり花は咲いていませんでしたが、今年も満開の美しい姿をみせてくれました。



「桜みえますか〜?!」



満開です



ちょっと肌寒かったです



みんなで一緒にお花見しました



端午の節句

令和5年5月11日

金太郎はもちろん和田師長です。お供は狸じゃなくて熊だったと思うのですが……。中右先生が体を張ってくださいました！ボランティアさんの歌も素晴らしかったです！



「どっちがきれい？」



安部先生のハーモニカ演奏



おやつもおいしいそうです



いつもカメラ撮影ありがとうございます！



存在感で金太郎の圧勝ですね



愉快的イラスト

七夕

令和5年7月6日

彦星に織姫に、研修医の先生は天の川に(笑)。副看護師長がスイカ、そしてなぜかある看護師がティラノサウルスに……。『彦星』いわく、前日に牛車の牛に逃げられて、仕方なくその辺をたまたま歩いていたティラノサウルスを連れてきたのだとか! 仮装が得意の和田師長が不在だったため、みんな代わりに頑張りました!



中右先生と西音楽療法士の演奏



ティラノが切れてますが、患者さんとピースです



沢山の願い事



ティラノサウルスがいますけど?!



ボランティアさんが作ってくれた飾りもかわいいです



みんなでトーンチャイム演奏



皆さん楽しんでいただけましたか?

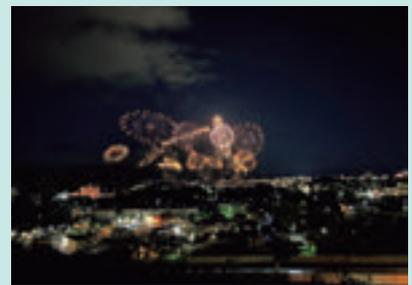


ちなみに「スイカ」と「笹」です

水郷祭

令和5年8月5日

今年は初めて、松江市が有料観覧席を設けての開催でした。花火は見ごたえ満点! ちょっと暑かったですが、みんなで満喫しました。



徒然日記

お昼。お腹すきました。

「菖蒲かわいい〜！」

お風呂気持ちよかったですか？

千年木という植物だそうです

多肉植物たち
かわいいです。

ひまわりがたくさん咲きました

ペーパークラフト「海の家」
涼しそうです

日日草の寄せ植え

ペーパークラフトの
アイスクリーム屋さん

編集後記

今年の夏は、言葉では言い表せないほど暑かったですね。命に危険が及ぶほどの暑さを記録した日もありました。9月になっても10月になっても暑くて、11月に入っても日によっては半袖で過ごせる日もありました。温暖化もここまで来たか！と思っていたら、12月に入って突然冬がやってきました。

……あれ？秋は？秋っぽい気候がありましたか？

秋といえば少しずつ山々が紅葉し始め、一雨一雨寒さがやってきて、一枚一枚羽織るものが増えていき、12月を目前にすると「ああ、冬が来るなあ」と舞い散る枯葉を見ながら物思いにふける……そんな秋がなかった気がするの私だけでしょうか。暑い暑いと言っていたのに、突然寒波がやってきたり、そうかと思うとまた季節が逆戻りしたように温かい（暑い）日が続いたり……。あまりにも極端な四季の変動に身体がついていけず、体調を崩してしまう人も多かったのではないのでしょうか。四季というより、二季という感じです。

人の心は季節のように移り替わるとはよく言ったもので、この度のように突然パッと変わるものではなく、少しずつゆらぎながら変わっていくものです。四季の変化と人の心の変化の共通点にふと気づき、二季ではなく、四季のように少しずつ変化してゆく人の心に寄り添っていきたいと思う今日この頃なのでした。

まあ『心変わり』ってという言葉があるように、突然変わるのも人間なんですけどね！

西 紫

編集
委員会

編集長：中右 礼子
編集・校正：中右 礼子、和田 祥恵
編集・写真：西 紫

令和5年12月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL：0852-60-8000（代表）／FAX：0852-60-8005（総務）



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL